

本会の活動から

東京都島しょ部のがん検診等に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした2025年度のがん検診のうち、神津島村の肺がん・結核検診が神津島村国民健康保険直営診療所を会場として9月11～13日に行われ、本会が協力した。

韓国・研成大学の学生施設見学の施設見学に協力

韓国健康管理協会との相互交流の一環として、8月13日に韓国・安養市にある研成（ヨンソン）



▲韓国・研成大学の学生の施設見学

大学保健医療行政学科の1年生3人が本会を訪問した。当日は、本会の健診事業や健康づくり支援の取り組みについての講義の後、施設見学を行い、人間ドックで実際に行われている「ロコモ度テスト（下肢筋力と歩幅から移動能力を判定するテスト）」にもチャレンジした。

本会では韓国健康管理協会との人的交流を30年以上にわたって続けており、今後も国際交流を深め、予防医学を通じた公衆衛生の向上を目指していく。

東洋大学と帝京短期大学の学生の実習に協力

本会は毎年、東洋大学と帝京短期大学の養護教諭養成課程の学生を対象とした実習に協力している。今年は両大学合同で8月8日に6回目の実習を実施。東洋大学から18人、帝京短期大学から2人が参加した。当日は本会の学校保健事業の概要や学校健診について紹介した他、腎臓検診や小児生活習慣病予防健診、心臓検診や側弯症検診など、実際の学校健診の現場で実施する検査・検診の見学を行った。

2人、システム管理部の職員1人が参加した。「サイバーリスクとAI変革時代を生きる…私たちの健診業務はどう変わる」と題して行われた全体討論やグループディスカッションなどを通して、現在の情報処理、システム開発上の問題点、これからの情報統計のあり方など活発な意見交換が行われた。

学術集会への参加等

●第61回日本小児循環器学会総会・学術集会が7月10～12日、「小児循環器学、医療と保健の未来を紡ぐ」をテーマに三重県津市で開催され、健診事業部長の廣瀬篤史、同部の職員3人、データ管理部部長の上村篤弘、検診検査部の職員2人が参加した。

●第67回日本婦人科腫瘍学会学術講演会が7月17～19日、「Be a Supporter of GYN Cancer Patients 婦人科がん患者のサポーターになろう!」をテーマ



▲第61回日本小児循環器学会総会・学術集会



▲第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会

本会の職員が全衛連の功績賞、奨励賞を受賞

全国労働衛生団体連合会（全衛連）は、主に労働衛生機関が会員となり、検査技術や保健指導技術等の向上を図り、労働者の健康の保持増進、国民保健の発展に寄与することを目的に活動している。全衛連では、毎年会員施設において業務に精

に京都府京都市で開催され、母子保健検査部長の石毛信之が参加し、新生児スクリーニングにおける東京都の先進的な取り組みについて発表した。

●第15回国際先天代謝異常常学会（ICIE M 2025）が6月2～6日、「Capital of tradition witnesses cutting-edge transformation」をテーマに京都府京都市で開催され、母子保健検査部長の石毛信之が参加し、新生児スクリーニングにおける東京都の先進的な取り組みについて発表した。

●第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会が8月31日、「多職種連携で消化器がん検診の向上を目指して」をテーマに茨城県水戸市で開催され、放射線部の職員1人が参加した。

●第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会が8月22～23日、「私たちが予防医療にできること」をテーマに京都府京都市で開催され、理事長の久布白兼行、検査研究センター長の藤井多久磨、消化器診断部長の川崎成郎、健康増進部長の加藤京子、同部の職員1人、施設健診事業部の職員2人、検診検査部の職員3人が参加した。このうち、健康増進部の山本絵莉が「人間ドック受診者を対象とした新たな健康支援プログラム『健活チャレンジ1ヶ月』の有用性の検討」を発表した。

●第42回全国情報統計研修会（主催 予防医学事業中央会、三重県健康管理事業センター）が8月28～29日、三重県津市で開催された。予防医学事業中央会の都府県支部で健康診断の事務を担当するスタッフが集うこの研修会には、全国の都府県支部から約100人が参加。本会からは理事の黒田聡史、データ管理部部長の上村篤弘、同部の職員



▲東洋大学と帝京短期大学の学生の実習

予防医学事業中央会 令和7年度第1回全国運営会議に参加

令和7年度第1回全国運営会議（主催 予防医学事業中央会）が7月14日に東京都新宿区で開催され、全国33支部より約80人が参加した。

この会議は予防医学事業中央会の都府県支部の役員、幹部職員を対象に年2回開催され、予防医学事業に関する今後の展開や取り組みについて討議される。本会からは理事長の久布白兼行、専務理事の前田秀喜、理事の黒田聡史、健診事業部長の廣瀬篤史、同部の職員1人が参加した。

予防医学事業中央会 第42回全国情報統計研修会に参加

第42回全国情報統計研修会（主催 予防医学事業中央会、三重県健康管理事業センター）が8月28～29日、三重県津市で開催された。予防医学事業中央会の都府県支部で健康診断の事務を担当するスタッフが集うこの研修会には、全国の都府県支部から約100人が参加。本会からは理事の黒田聡史、データ管理部部長の上村篤弘、同部の職員

励し、顕著な功績が認められた者に功績賞、奨励賞を贈っている。

6月17日に開催された令和7年度定時総会では、今年度の表彰が行われ、本会のデータ管理部の職員1人が功績賞、データ管理部と検診検査部の職員2人が奨励賞を受賞した。

第317回ヘルスケア研修会のご案内

日本産業衛生学会産業保健AI研究会の世話人であり、昭和医科大学医学部 准教授の山内武紀氏をお迎えし、産業保健の現場で役立つ、効果的なAI活用法についてご講演いただきます。

テーマ AIの活用 第三弾「AI について(仮題)」

- 講師：山内 武紀氏
昭和医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 准教授
日本産業衛生学会産業保健AI研究会 世話人
- 会場：アルカディア市ヶ谷 私学会館
(東京都千代田区)
- 現地開催：2026年1月28日(水) 14時～15時30分
(後日、期間限定オンデマンド配信：2026年3月中旬配信開始予定)
- 現地開催定員：150人(申込先着順)
- 参加費・聴講料：無料
- 現地開催申込期間：2025年11月5日～12月19日
※定員になり次第、受付を終了させていただきます。

- 詳細・申し込みは、本会健康管理コンサルタントセンターのWebサイトよりご確認ください。
https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/healthcare_cc/
- 問い合わせ：健康管理コンサルタントセンター事務局 ☎03-6265-0145

